



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 東・福
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯山 誠二
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員総合企画部長 (氏名) 小嶋 良一 (TEL) (092)431-2530
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,144	1.8	2,829	8.4	2,888	8.5	1,937	13.6
2020年3月期第3四半期	19,798	18.7	2,611	7.7	2,661	7.8	1,704	△4.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,449百万円(△2.5%) 2020年3月期第3四半期 2,513百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	85.42	—
2020年3月期第3四半期	75.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	145,700	31,821	21.7
2020年3月期	144,444	29,741	20.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 31,676百万円 2020年3月期 29,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2021年3月期	—	7.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.2	3,100	△9.6	3,200	△9.6	2,100	△11.6	92.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	25,952,374株	2020年3月期	25,952,374株
2021年3月期3Q	3,251,904株	2020年3月期	3,284,004株
2021年3月期3Q	22,681,837株	2020年3月期3Q	22,613,605株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、昨年5月の緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策を講じつつ、各種政策で経済・社会活動のレベルが段階的に引き上げられていくなかで持ち直しの動きもみられましたが、年末年始にかけて新規感染者数が再度増加傾向を強め、本年1月に再び政府が11都府県に緊急事態宣言を発するなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは、当期(2021年3月期)が最終年度となる中期経営計画「Evolution for Next ～お客様と共に、目指す未来へ」の総仕上げとして、「企業力強化」と「事業領域の拡大」に注力しております。

新規顧客の開拓などにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための営業活動の制約に伴い、少なからず影響を受けておりますが、業態的にストックビジネスとしての特性を持ち、主業であるリース・割賦事業、ファイナンス事業、不動産事業などにおいて、積極的に営業資産の積み上げに取組み、足許のコロナ禍における売上・利益の確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は20,144百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は2,829百万円(前年同期比8.4%増)、経常利益は2,888百万円(前年同期比8.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,937百万円(前年同期比13.6%増)と増収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

①リース・割賦

2019年10月に航空機ファイナンス市場が堅調に推移していたなかで、収益確保の観点から航空機(貸貸資産)を売却したことの反動により売上高は12,416百万円(前年同期比17.6%減)、営業利益は1,018百万円(前年同期比7.1%減)となりました。なお、営業資産残高は68,928百万円(前期末比1.6%増)となりました。

②ファイナンス

売上高は1,040百万円(前年同期比2.2%増)、与信関係費用の減少により営業利益は638百万円(前年同期比14.9%増)となりました。なお、営業資産残高は22,380百万円(前期末比11.5%減)となりました。

③不動産

保有資産の入れ替えに伴う販売用不動産売却もあり、売上高は5,645百万円(前年同期比113.2%増)、営業利益は1,342百万円(前年同期比15.6%増)となりました。なお、営業資産残高は37,631百万円(前期末比8.9%増)となりました。

④フィービジネス

保険代理店収入が減少したことにより、売上高は307百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は120百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

⑤環境ソリューション

売上高は691百万円（前年同期比3.0%増）、売電事業における売上原価減少により営業利益は76百万円（前年同期比62.2%増）となりました。なお、営業資産残高は4,713百万円（前期末比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は145,700百万円（前期末比0.9%増）と前連結会計年度末に比べ1,256百万円の増加となりました。これは主に、リース債権及びリース投資資産の増加426百万円、割賦債権の増加918百万円などです。

負債合計は113,878百万円（前期末比0.7%減）と前連結会計年度末に比べ823百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加441百万円、借入金の減少1,430百万円などです。

純資産合計は31,821百万円（前期末比7.0%増）と前連結会計年度末に比べ2,080百万円増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,569百万円、その他有価証券評価差額金の増加505百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日付「2021年3月期 連結業績予想の公表に関するお知らせ」において公表しました業績予想から変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症の収束時期等、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,327	4,699
受取手形及び売掛金	87	59
割賦債権	16,090	17,008
リース債権及びリース投資資産	48,984	49,410
営業貸付金	25,296	22,380
賃貸料等未収入金	150	200
販売用不動産	7,470	8,476
その他	829	368
貸倒引当金	△253	△205
流動資産合計	103,983	102,400
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	26,944	27,706
その他(純額)	3,582	3,325
賃貸資産合計	30,526	31,032
その他の営業資産	3,721	3,896
社用資産	706	690
有形固定資産合計	34,954	35,619
無形固定資産	671	544
投資その他の資産		
投資有価証券	3,877	6,077
その他	958	1,059
投資その他の資産合計	4,835	7,136
固定資産合計	40,461	43,300
資産合計	144,444	145,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,567	3,008
短期借入金	30,034	32,287
1年内償還予定の社債	434	100
未払法人税等	572	437
引当金	278	263
その他	4,163	5,063
流動負債合計	38,048	41,160
固定負債		
社債	300	200
長期借入金	64,319	60,634
引当金	19	22
退職給付に係る負債	399	360
資産除去債務	334	336
その他	11,280	11,163
固定負債合計	76,654	72,718
負債合計	114,702	113,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	835	835
利益剰余金	25,589	27,159
自己株式	△1,017	△1,008
株主資本合計	28,340	29,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,251	1,757
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益累計額合計	1,250	1,757
非支配株主持分	150	145
純資産合計	29,741	31,821
負債純資産合計	144,444	145,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	19,798	20,144
売上原価	15,270	15,532
売上総利益	4,528	4,612
販売費及び一般管理費	1,916	1,782
営業利益	2,611	2,829
営業外収益		
受取配当金	80	83
投資有価証券売却益	34	49
その他	24	14
営業外収益合計	138	147
営業外費用		
支払利息	59	45
持分法による投資損失	12	16
その他	17	26
営業外費用合計	88	88
経常利益	2,661	2,888
特別損失		
固定資産除却損	47	—
投資有価証券評価損	82	—
特別損失合計	129	—
税金等調整前四半期純利益	2,532	2,888
法人税、住民税及び事業税	753	867
法人税等調整額	61	78
法人税等合計	814	945
四半期純利益	1,717	1,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,704	1,937

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,717	1,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	794	505
繰延ヘッジ損益	1	0
その他の包括利益合計	795	506
四半期包括利益	2,513	2,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,500	2,444
非支配株主に係る四半期包括利益	12	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において324百万円、1,093,700株、当第3四半期連結会計期間末において315百万円、1,061,600株であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済への影響は、昨年5月の緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策を講じつつ、各種政策で経済・社会活動のレベルが段階的に引き上げられていくなかで持ち直しの動きもみられましたが、本年1月に政府が11都府県に再び緊急事態宣言を発するなど、先行き不透明な状況が続いております。

第2四半期累計期間においては「当連結会計年度末に向けて景気が徐々に回復する」と仮定しておりましたが、最近の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、「当連結会計年度末に向けて景気が徐々に回復しつつも、翌連結会計年度以降も一定期間は影響が残る」と仮定を変更し、貸倒引当金等の会計上の見積りを行っております。これらの見積りには不確実性があり、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済への影響が変化した場合には損失額が増減する可能性があります。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	15,063	1,017	2,647	326	671	19,727	71	19,798	—	19,798
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,063	1,017	2,647	326	671	19,727	71	19,798	—	19,798
セグメント利益	1,096	555	1,160	139	47	2,999	6	3,005	△393	2,611

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△393百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	12,416	1,040	5,645	307	691	20,101	43	20,144	—	20,144
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,416	1,040	5,645	307	691	20,101	43	20,144	—	20,144
セグメント利益	1,018	638	1,342	120	76	3,196	△1	3,194	△364	2,829

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△364百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」の4区分から「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」「環境ソリューション」の5区分に変更しております。

この変更は、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取組を踏まえて管理区分を見直したことによるものであり、従来その他に区分していた売電事業と「リース・割賦」に含まれていたLEDレンタル事業を「環境ソリューション」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものであります。

3. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦	ファイナンス・リース	48,138	36.4	48,593	36.3
	オペレーティング・リース	3,582	2.7	3,325	2.5
	リース計	51,721	39.1	51,919	38.8
	割賦販売	16,090	12.2	17,008	12.8
	リース・割賦計	67,811	51.3	68,928	51.6
ファイナンス		25,296	19.1	22,380	16.7
不動産	オペレーティング・リース	26,944	20.4	27,706	20.8
	その他	7,620	5.7	9,924	7.4
	不動産計	34,564	26.1	37,631	28.2
環境ソリューション		4,566	3.5	4,713	3.5
合計		132,239	100.0	133,653	100.0